

ベータ崩壊核種の作る相互作用場における電気化学的起電力生成装置の出力信号増大現象に関する研究

須田, 翔哉

<https://doi.org/10.15017/1931896>

出版情報 : 九州大学, 2017, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	須田翔哉			
論文名	ベータ崩壊核種の作る相互作用場における電気化学的起電力生成装置の出力信号増大現象に関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	前畑京介
	副査	九州大学	教授	藤本望
	副査	九州大学	教授	深田智
	副査	九州大学	名誉教授	石橋健二

論文審査の結果の要旨

本研究は、原子炉及び大強度トリチウム線源の傍で電気化学的起電力生成装置を用いた実験を行い、その出力信号の生成プロセスをモデル化し高放射能ベータ崩壊核種の新たなモニター法を提案したものであり、価値ある業績であると認める。

よって、博士（工学）の学位に値すると認める。